

「あこがれの平屋」に住んでいます。

今から半世紀以上も前に購入した家に、現在も住み続けています。購入した頃は、ご近所も同年輩の方々と、それぞれの家庭に2~3人の子供がいて、大変にぎやかでした。前の道で多くの子供たちが喚声を上げて遊んでいました。その子供たちの成長とともに、ご近所ではいっせいに二階を増築する工事が行われるようになりました。それと言うのも、購入当初は道に面して平屋が建ち並んでいたからです。我が家も二人の子供の成長と共に、増築を迫られました。いろいろ考えましたが、結局、我が家は二階の増築を止め、庭に一室を増築することに決めました。

途中25年間、仕事の都合でこの家を離れて過ごしましたが、65歳になって、改めてこの家に戻りました。リフォームが必要でしたが、夫婦二人にはちょうど良い広さで、何よりも二階に上り下りする必要がないことに感謝しました。夜中に階段を踏み外して怪我をすることもなく、ワンフロアで生活できることを喜んでいます。

不動産屋の広告チラシにも、「あこがれの平屋」の宣伝文句が目につくようになりました。高齢と共に、階段や家の段差が大きな問題になります。足腰を鍛えているつもりですが、若い頃には考えも及ばなかった危険が多い暮らしです。二階の増築をしなかったことが、今はなんと感謝なことでしょう。

家のことだけでなく、ここまでの人生でも聖書のことばに支えられてきました。

**「神を愛する人たち・・・には、すべてのことがともに働いて益となることを、私たちは知っています。」(新約聖書ローマ人への手紙8:28)**